

# TPPと日本農業の未来

## —輸出産業化による農業・農村改革—

ウイリアム・マイナー 農業研究所客員教授

叶 かのう

芳 よし

和 かず

- \*三つの概念で考える
- \*関係ない農業改革とTPP
- \*アジアの活力はすでに取り込み済み
- \*政治はアメリカ、経済は東アジア
- \*意味のない議論が横行
- \*開放度はタリフライン分析でわかる
- \*直接支払いによる農業保護
- \*ローリングプランの勧め
- \*輸出産業化で農業は劇的に変わる
- \*農業で輸出も輸入もする普通の国に



浅野 開会いたします。（拍手） TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の議論をどなたにお願いしようかとずっと考えてきました。会員の皆さんにどちらが多いかわかりませんが、賛成、反対でかなり分かれる。これが困るのですね。どちらでも片方からはブーイングが出るかもしれない。叶さんとはかねていろいろ話をし、書かれたものを拝見して、これは賛成でも反対でもないニュアンスであって、かつユニークなお話をしていただけたらと思うのでお願いしました。

叶 芳和 TPPに絡んで農業問題が盛んに言われますけれども、これも農業学者では大抵はJAに近い意見になってしまって、TPP反対になりません。叶さんは、かねて日本農業は再生できると

考え、こうあらねばならないということも言っていて、第2回の石橋湛山賞を日本農業のあり方について書かれた論文で、もう30年ぐらいい前ですが、受賞されました。ですから、今日も個性的な日本農業のあり方について、たっぷり議論いただけたらと思います。

あさってからブータンへ行かれます。ちょうど国王が来日していて、ブータンの話のほうも面白そうですが、ちょっと触れていただけられるかどうか。ともあれ、それではお願いいたします。（拍手）

叶 叶でございます。浅野さん、どうもありがとうございます。私は、少なくともTPPに反対と言ったことはありません。ただ、私の論文を読んだ人で、おまへはTPPに反対なのか